

移動制約レベル別に見た利用可能な交通手段

サービス 類型	交通手段	担い手	移動制約レベル/該当する属性							観点との 対応		
			レベル1(介助不要)	レベル2(一部介助)			レベル3(日常的介助)				レベル4(全面的 介助)	
			・移動制約のない 人: 39,900人 (推計) - うち75歳以上 5,300人(13%) - うち免許非保有ま たは運転機会少 無: 19,400人	・歩行能力低下 者: 7,800人 (推計) ・移動制約のある 免許返納者: 4,000人(推計)	・ベビーカー利 用者: 1,400 人(推計)	・精神障害者: 626人 ^{※1} ・知的障害者: 389人 ^{※1}	・要支援、要介 護1-3: 3,496人 ^{※1}	・車いす利用 者: 500人(推計)	・視覚障害者: 113人 ^{※1}		・要介護4-5: 912人 ^{※1} ・重度身体障害 者: 852人 ^{※1}	
幹線バス (鉄道と まともに 比べて)	鉄道	JR東日本、京急 電鉄	◎	◎ (バリアフリー前提、 一部介助者必要)	◎ (バリアフリー前提)	◎ ※2	△ (バリアフリー前提、 介助者必要)	◎ (バリアフリー前提、 介助者必要)	◎ (バリアフリー前提、 介助者必要)	×	①②③	
	路線バス	京急バス	◎	◎ (バリアフリー前提、 一部介助者必要)	◎ (バリアフリー前提)	◎ ※2	△ (バリアフリー前提、 介助者必要)	◎ (バリアフリー前提、 介助者必要)	◎ (バリアフリー前提、 介助者必要)	×		
地域内での乗合、徒歩・自転車 (拠点までつなぐ(支線バス、 拠点までの新たな乗合輸送(公共 ライドシェア含む))	拠点までの新たな乗合輸送(公共ライドシェア含む)	なし	△	◎ (バリアフリー前提、 一部介助者必要)	◎ (バリアフリー前提)	◎ ※2	△ (バリアフリー前提、 介助者必要)	◎ (バリアフリー前提、 介助者必要)	◎ (バリアフリー前提、 介助者必要)	×	①③	
	高齢者センター送迎	パブリックサービス	○ ※3	○ ※3 (バリアフリー前提、 一部介助者必要)	×	○ ※2、3	△ ※3 (バリアフリー前提、 介助者必要)	○ ※3 (バリアフリー前提、 介助者必要)	○ ※3 (バリアフリー前提、 介助者必要)	×		
	住民同士での互助輸送	ハイランド自治会、 社協ボランティア	△	◎ (バリアフリー前提、 一部介助者必要)	◎ (バリアフリー前提)	◎ ※2	△ (バリアフリー前提、 介助者必要)	◎ (バリアフリー前提、 介助者必要)	◎ (バリアフリー前提、 介助者必要)	×		
	シェアサイクル	江ノ島電鉄・ OpenStreet	△	△ ※4	×	○ ※2	×	×	×	×		②③
	徒歩等(歩行空間改善)	—	◎	△ ※4	○	○ ※2	△ ※4	○ (車いす移動)	○ (白杖等)	×		①②③
ドキュメント・福祉的な移送手段 (個別に運ぶ(タクシー・ライ ドシェア・福祉的な移送手段))	タクシー	逗子菊池、京急葉 山交通、富士、逗子 葉山	○	◎ (バリアフリー前提、 一部介助者必要)	○	◎ ※2	△	△	△	×	①③	
	日本版ライドシェア	なし	○	◎ (バリアフリー前提、 一部介助者必要)	○	◎ ※2	△	△	△	×		
	福祉有償運送	くるまやさん、らら・ むーぶ逗子葉山	×	×	×	×	◎	◎	◎	◎		
	(通院等乗降介助)	なし	×	×	×	×	◎ (要介護のみ)	×	×	◎		
	福祉タクシー・福祉輸送サービス等	逗子菊池タクシー他	×	×	×	×	◎ ※5	◎ ※5	◎ ※5	◎ ※5		

※1 令和7年11月末日時点

※2 混雑・騒音等、心理的・感覚的バリア、経路理解・コミュニケーション等の困難により利用が困難な場合がある

※3 60歳以上のみ利用可能

※4 徒歩・自転車移動に対し身体的制約がない場合は利用可能

※5 介護保険特別給付(移送サービス)については要介護1以上かつ非課税世帯が対象

◎日常的に使われ、使う人が多いもの
○目的等に応じ、選択肢として選ばれるもの
△補助的な選択肢、もしくは制約により利用が容易ではないもの
×利用が困難、もしくは利用対象に無いもの

注)本資料における『移動制約レベル』は、逗子市における移動特性や地域特性等を踏まえて独自に設定した分類であり、全国統一的な定義に基づくものではありません。

歩行許容距離別に見た利用可能な交通手段

サービス類型	交通手段	担い手	歩行許容距離					観点との対応	
			・1km以上歩行可能: 24,300人(推計)	・700-800m程度歩行可能: 20,300人(推計)	・200-300m歩行可能: 7,600人(推計)	・数10m歩行可能: 1,200人(推計)	・歩行移動が難しい: 1,700人(推計)		
幹線バス (まどめて)	鉄道	JR東日本、京急電鉄	◎	◎	◎ (駅までの移動支援前提、 バリアフリー推奨)	△ (バリアフリー前提、介助者 必要)	×	①②③	
	路線バス	京急バス	◎	◎	◎ (停留所までの移動支援前提、 バリアフリー推奨)	△ (バリアフリー前提、介助者 必要)	×		
支線バス (支線バス)	拠点までの新たな乗合輸送(公共ライドシェア含む)	なし	×	△	◎ (バリアフリー推奨)	△ (バリアフリー前提、介助者 必要)	×	①③	
	高齢者センター送迎	パブリックサービス	○ ※1	○ ※1	○ ※1 (バリアフリー推奨)	△ ※1 (バリアフリー前提、介助者 必要)	×		
	住民同士での互助輸送	ハイランド自治会、社協 ボランティア	×	△	◎ (バリアフリー推奨)	○ (バリアフリー前提、介助者 必要)	×		
	シェアサイクル	江ノ島電鉄・ OpenStreet	◎	△ ※2	△ ※2	×	×		②③
	徒歩等(歩行空間改善)	—	◎	△ ※2	△ ※2	×	×		①②③
個別に運ぶ (タクシー・福祉的な移送手段)	タクシー	逗子菊池、京急葉山交通、 富士、逗子葉山	○	○	◎ (バリアフリー推奨)	○ (バリアフリー前提、介助者 必要)	×	①③	
	日本版ライドシェア	なし	○	○	◎ (バリアフリー推奨)	○ (バリアフリー前提、介助者 必要)	×		
	福祉有償運送	くるまやさん、らら・むーが 逗子葉山	×	×	×	◎ (要支援・要介護のみ)	◎		
	(通院等乗降介助)	なし	×	×	×	◎ (要介護のみ)	◎		
	福祉タクシー・福祉輸送サービス等	逗子菊池タクシー他	×	×	×	◎ ※3	◎ ※3		

※1 60歳以上のみ利用可能

※2 徒歩・自転車移動に対し身体的制約がない場合は利用可能

※3 介護保険特別給付(移送サービス)については要介護1以上かつ非課税世帯が対象

◎日常的に使われ、使う人が多いもの

○目的等に応じ、選択肢として選ばれるもの

△補助的な選択肢、もしくは制約により利用が容易ではないもの

×利用が困難、もしくは利用対象に無いもの

【参考】移動制約レベルと属性別市内人口(一部推計値)

レベル1(介助不要)	レベル2(一部介助)		レベル3(日常的介助)		レベル4(全面的介助)
<ul style="list-style-type: none"> 移動制約のない人: 39,900人(推計) -うち75歳以上 5,300人(13%) -うち免許非保有または運転機会少 無:19,400人 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行能力低下者: 7,800人(推計) 移動制約のある免許返納者: 4,000人(推計) 	<ul style="list-style-type: none"> ベビーカー利用者: 1,400人(推計) 	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者: 626人^{※1} 知的障害者: 389人^{※1} 	<ul style="list-style-type: none"> 要支援、要介護1-3: 3,496人^{※1} 	<ul style="list-style-type: none"> 車いす利用者: 500人(推計) 視覚障害者: 113人^{※1}
					<ul style="list-style-type: none"> 要介護4-5: 912人^{※1} 重度身体障害者: 852人^{※1}

注)本資料における『移動制約レベル』は、逗子市における移動特性や地域特性等を踏まえて独自に設定した分類であり、全国統一的な定義に基づくものではありません。

【参考】歩行許容距離と利用可能な交通手段の種類の関係

歩行許容距離	特徴	主な移動手段	考慮すべき事項
1km以上問題なく歩ける人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道駅やバス停まで自力で利用可能 ・ 階段等の昇り降りは自力で可能 ・ 鉄道やバス相互の乗り換えは可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道・路線バス等 ・ タクシー ・ 徒歩・自転車 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし
700～800m程度までは歩ける人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道駅やバス停まで自力で利用可能(ただし、荷物があるときなど場合によっては支援が必要) ・ 階段等の昇り降りは自力で可能(バリアフリーであれば望ましい) ・ 鉄道やバス相互の乗り換えは可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道・路線バス等(バリアフリー推奨、駅・停留所までのアクセス支援が場合によっては必要) ・ タクシー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面に応じて駅・停留所までの移動支援が必要 ・ 自力で可能であるが、昇降が楽であるほうが良い
200～300m程度までは歩ける人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自力で歩けるが、長い距離を歩けないので、自宅や目的地付近に駅・停留所があれば公共交通の利用が可能 ・ 段差や坂道の昇り降りが苦痛 ・ 鉄道やバス相互の乗り換えは可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道・路線バス(駅・停留所までのアクセス支援が必要) ・ 拠点までの新たな乗合輸送 ・ 住民同士での互助輸送 ・ タクシー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅のごく近くに駅・停留所等が必要、もしくは駅・停留所までの移動支援が必要 ・ 昇降に負担の少ない構造が必要
数十メートル程度までは歩ける人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単独で外出するのは転倒等が不安 ・ 自宅まで車が来てくれれば自力で乗り込めるが、移動先では介助等が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民同士での互助輸送(介助者必要) ・ タクシー(介助者必要) ・ 福祉有償運送 ・ 福祉タクシー・福祉輸送サービス等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅から乗車できるサービスが必要 ・ 乗降介助が必要なことが多い ・ 要支援者相当の場合、要介護者向けの介護サービスは受けられない
徒歩での移動が困難な人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅前まで車が来てくれても自力で乗り降りできない ・ 福祉車両を必要とする ・ 寝たきりの場合はストレッチャーで移動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉有償運送 ・ 福祉タクシー・福祉輸送サービス等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗降介助が必須 ・ 介護サービスを受けている要介護者が想定される ・ 寝たきりの場合は、ワゴン型の福祉車両が必要